

2026-2027 日本インドア曲技飛行機大会資料

☆ 2026-2027 日本インドア曲技飛行機大会 開催種目・・・	P 1
☆ 2026-2027 開催種目 演技説明及び演技図	
・ ビジタークラス(初級)	
① F3P AB-24	
演技説明	P 2
演技図	P 3
② F3P AN-15	
演技図	P 4
・ アドバンスドクラス(中級)	
F3P AA-15	
演技図	P 5
・ エキスパートクラス(上級)	
① AA上級(中部独自ルール)	
演技図	P 6
② F3P AA-27	
演技説明	P 7
演技図	P 8
・ マスターズクラス(F3P級)	
① F3P AP-27	
演技説明	P 9
演技図	P10
② F3P AF-27	
演技説明	P11
演技図	P13
・ フリースタイルクラス(AFM級)	
演技説明	P14

項目	2026-2027 日本インドア曲技飛行機大会 開催種目
目的	<p>■ 概要</p> <p>☆ F3P日本選手権に向けての操縦技術向上及び愛好者全員が参加出来る演技構成とする。 高度な操縦技術・高性能な飛行機で競い合うことを目指すクラスと、一般の市販機で参加出来るクラスが混在することにより、愛好者の参加意欲向上及参加者の拡大を目指す。</p> <p>☆ 各飛行会においては、毎回全種目を行うのではなく都度選択して開催する。</p> <p>☆ 開催地区に応じその主催者判断にてハンデ等の変更も可とする。</p>
種目	<p>■ ビジタークラス(初級)</p> <p>① FAI(国際航空連盟)F3P AB-24演技(2年毎の変更無し) 初心者向けの基本スケジュールで、ターン・アラウンド演技はストールターンのみ</p> <p>② JMA(日本模型航空連盟) F3P AN-15演技(2年毎の変更無し)</p> <p>■ アドバンスドクラス(中級)</p> <p>JMA(日本模型航空連盟) F3P AA-15演技(2年毎の変更無し)</p> <p>■ エキスパートクラス(上級)</p> <p>① AP級参加者からAA級参加者まで、又幅広いジャンルの機体が参加出来る演技 AA上級(中部独自ルール)(2年毎の変更無し)</p> <p>② FAI(国際航空連盟)F3P AA-27演技</p> <p>■ マスターズクラス(F3P級)</p> <p>① FAI(国際航空連盟)F3P AP-27演技</p> <p>② FAI(国際航空連盟)F3P AF-27演技</p> <p>■ フリースタイルクラス(AFM級)</p> <p>FAI(国際航空連盟)F3P AFM演技</p>
規格 ハンデ	<p>☆ インドアRC曲技動力付き模型の一般規則</p> <p>最大翼幅 ……………1500mm</p> <p>最大全長 ……………1500mm</p> <p>最大総重量、バッテリーを含む…………300g</p> <p>■ ビジタークラス(初級)</p> <p>① F3P AB-24</p> <p>② F3P AN-15</p> <p>①②(機体の最小重量は100g コントラドライブは使用禁止)</p> <p>■ アドバンスドクラス(中級)</p> <p>F3P AA-15…コントラドライブも使用可 (コントラドライブ未使用はプラスハンデ10%有り)</p> <p>■ エキスパートクラス(上級)</p> <p>① AA上級(中部独自ルール)</p> <p>② F3P AA-27</p> <p>①②(コントラドライブ未使用はプラスハンデ10%有り)</p> <p>■ マスターズクラス(F3P級)</p> <p>① F3P AP-27</p> <p>② F3P AF-27</p> <p>①②(コントラドライブ未使用はプラスハンデ20%有り)</p>

■ビジタークラス(初級)

①F3P AB-24

演技説明

AB-24.01テイクオフ・シーケンス

模型は滑走路に置き、離陸し、ジャッジラインから遠ざかる方向に1/2サークルを演じジャッジラインと並行の経路に入れる。ジャッジラインに向かって新たな1/2サークルを演じ最初の演技を開始する。

注記

- ・手順に従わなかった場合は0点となる
- ・模型がジャッジラインの後方を通った場合は0点となる。
- ・1/2サークルは異なる半径でも良い。
- ・0または10のどちらかが与えられる

AB-24.02フォーティ・ファイブ・デグリーズ・アップライン、フォーティ・ファイブ・デグリーズ・ダウンライン

水平飛行から、センターの手前で機首を引いて1/8自返りし45度上昇経路に入れ、機首を押して1/4逆宙返りし45度降下経路に入れ、水平飛行で終了

AB-24.03ロール

水平飛行から、一回ロールを演じ、水平飛行で終了

AB-24.04ストールターン

水平飛行から、機首を引いて1/4宙返りし垂直上昇経路に入れ、ストールターンを演じて垂直降下経路に入れ、機首を引いて1/4宙返りし、水平飛行で終了

注記 :この演技は、AB-24.03終了後ターン・アラウンド演技として飛行する。

AB-24.05ループ

水平飛行から、センターで機首を引いて一回宙返りし、水平飛行で終了

AB-24.06インヴァーテッド・フライト

水平飛行から、センターの手前で、1/2ロールを演じて背面飛行に入れ、背面飛行を演じ、1/2ロールを演じ、水平飛行で終了

AB-24.07ホリゾンタル・エイト・サークル

水平飛行から、センターの手前でサークルの90度部分を開始し、直ちに逆方向へのサークル360度を行い、直ちにまた逆方向のサークル270度へと続けて最初のサークルを終了させ、水平飛行で終了

AB-24.08ナイフエッジ・サークル

水平飛行から、センターの手前で1/4ロールを演じてナイフエッジ状態に入れ、ナイフエッジ飛行を行い、1/4ロールを演じ、水平飛行で終了

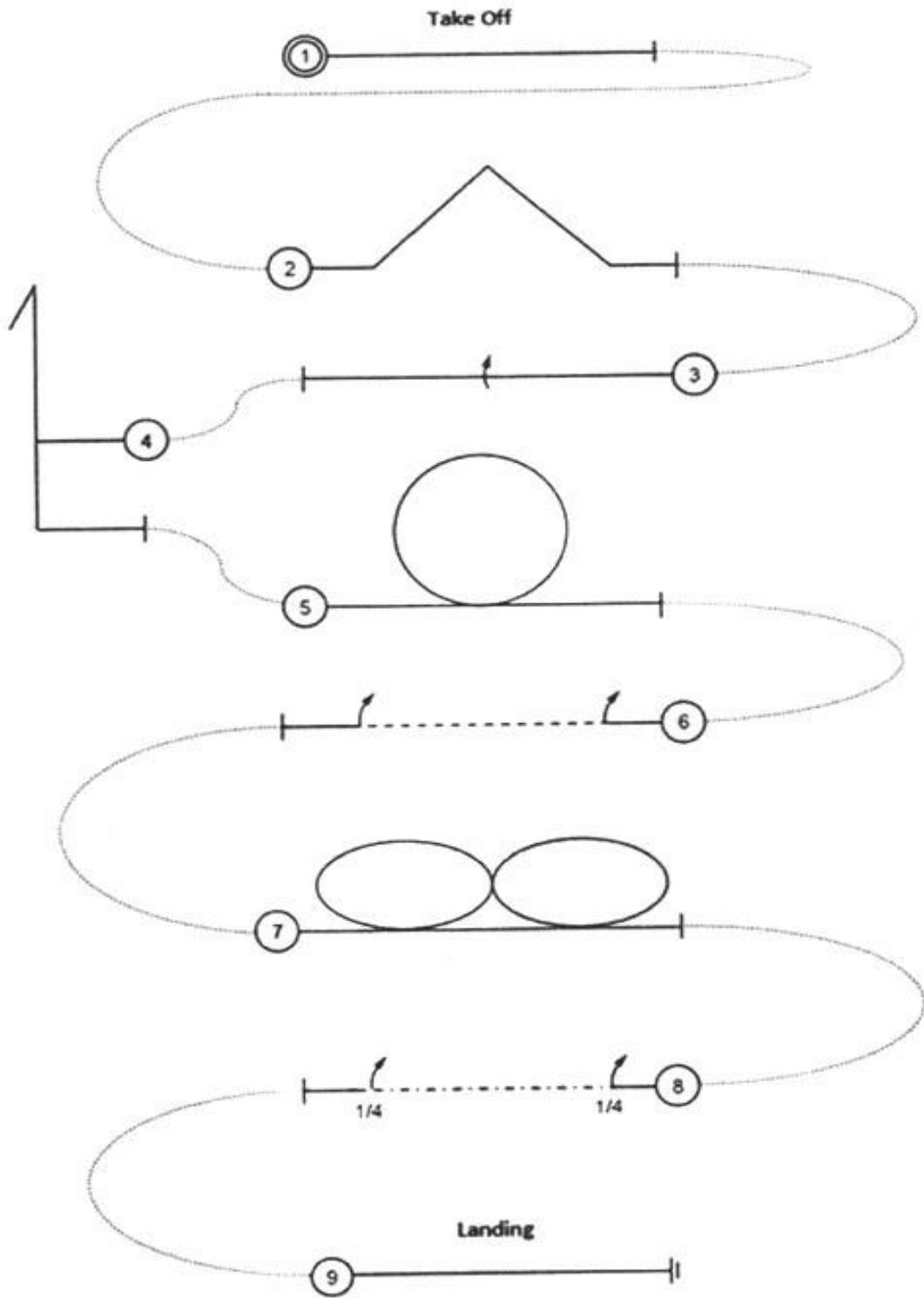
AB-24.09ランディング・シーケンス

AB-24.09を終了したのち、1/2サークルを演じ、機体を着陸させる

注記

- ・手順に従わなかった場合は0点となる
- ・模型がジャッジラインの後方を通った場合は0点となる。
- ・0または10のどちらかが与えられる

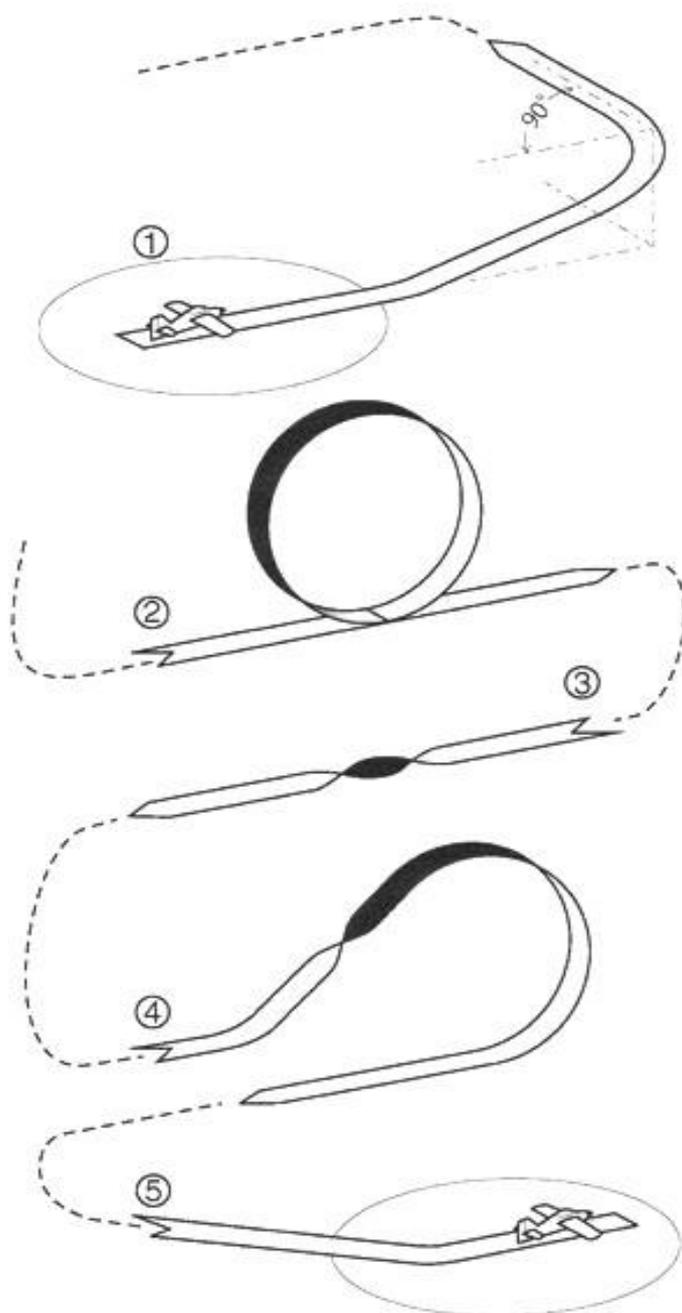
BASIC SCHEDULE F3P AB-24 (from 2024)



JMA F3P AN-15

(ナービスクラス)

日本模型航空連盟

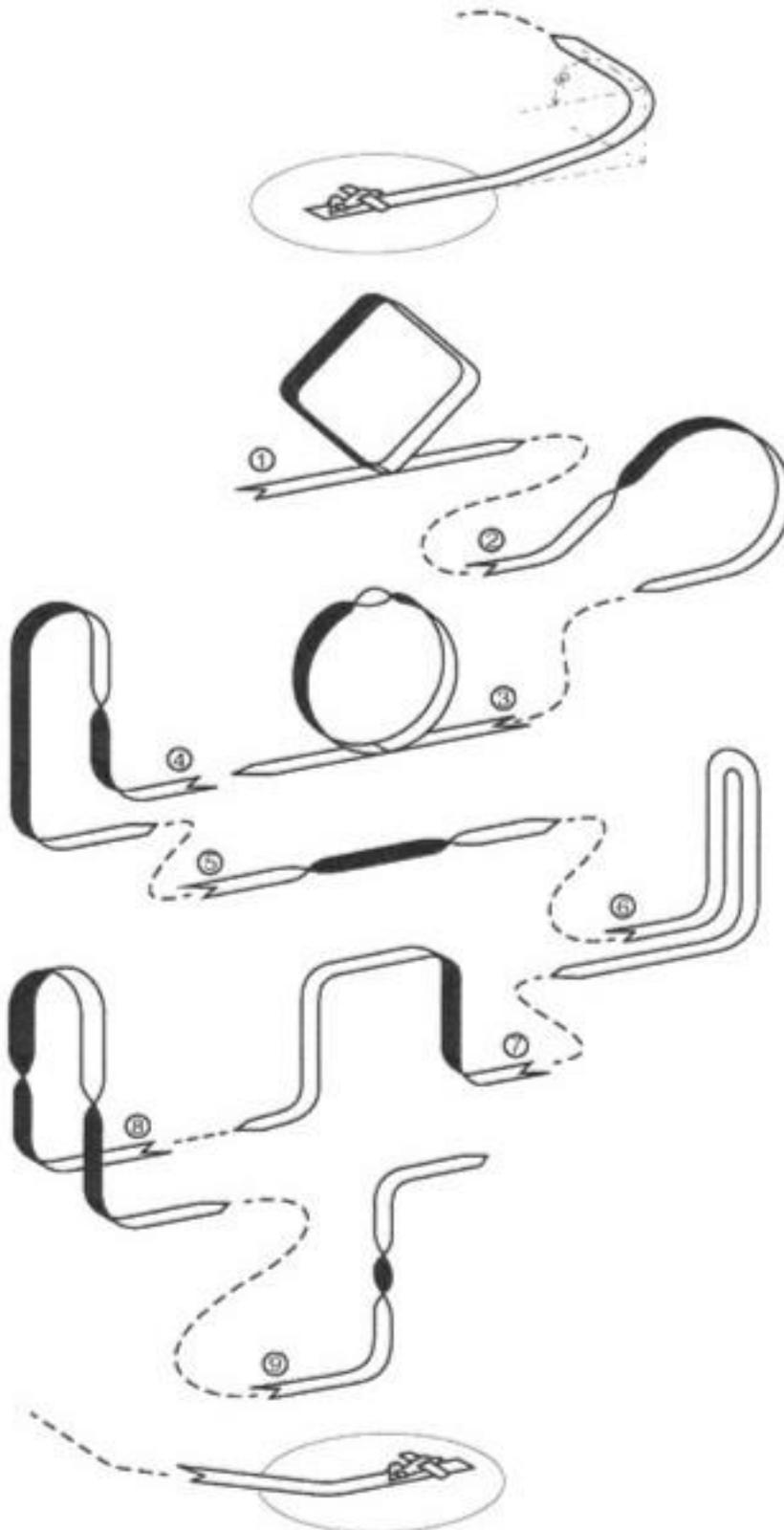


演技種目

① 離陸 90° 旋回	K = 1
② 1 回宙返り	K = 3
③ 1 回転ロール	K = 3
④ ハーフ リバース キューバ ン 8	K = 3
⑤ 着陸	K = 1

JMA F3P AA-15
(アドバンスドクラス)

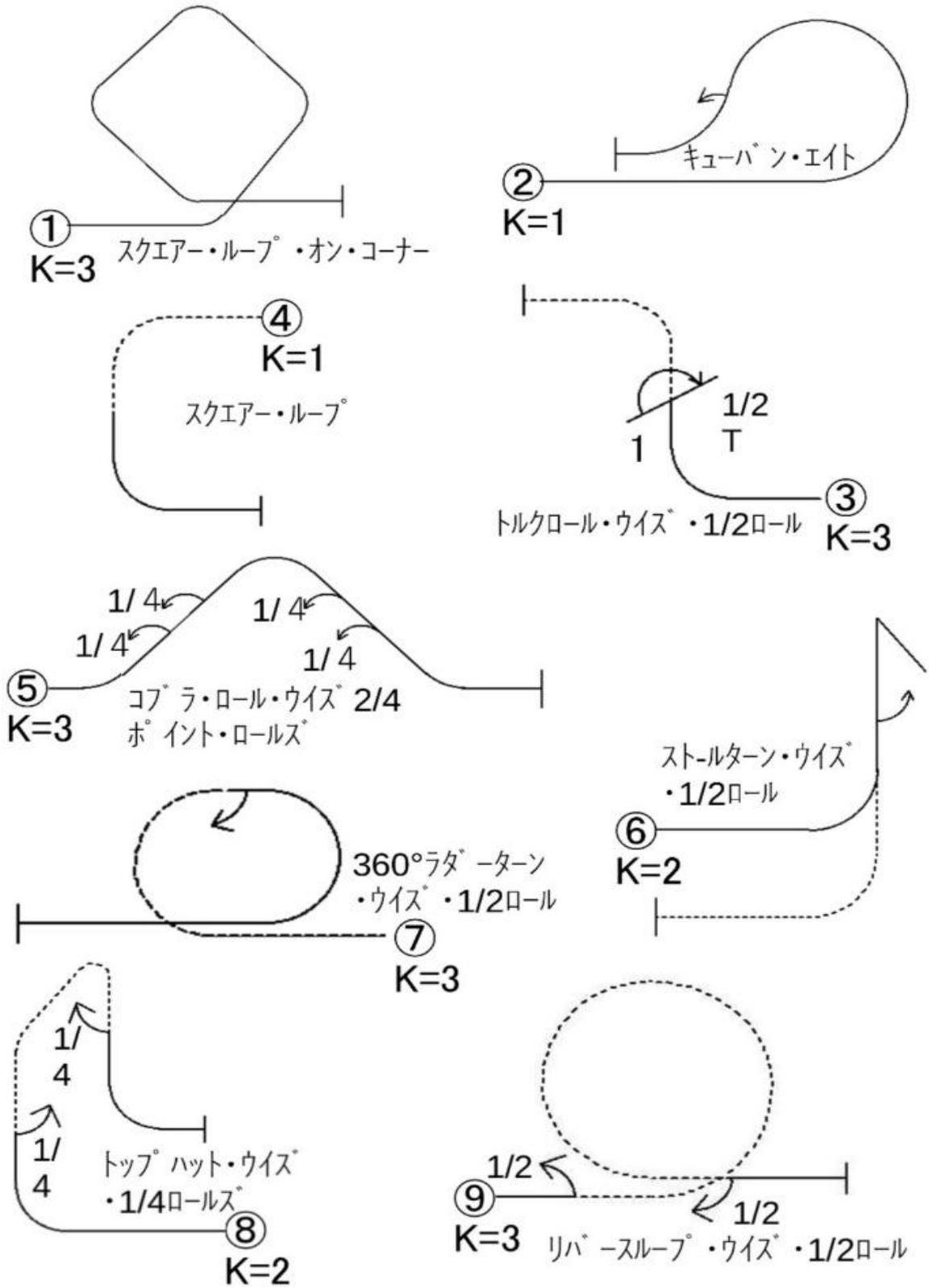
日本模型航空連盟



演技種目

離陸 90° 旋回 採点しない	
① スカイ・ループ・オン・コーナー	K=3
② リバース・キルバン	8 K=3
③ 宙返り、頂点で 1回転ロール	K=4
④ フル・ブル・ブル・バック ティンブ 上昇 1/2 ロール	K=3
⑤ 1/20-ル、背面飛行、 1/20-ル	K=4
⑥ スター・ターン	K=2
⑦ トップ・ハット	K=2
⑧ フル・バック・ブル・バック ティンブ 上昇、降下 1/4 ロール	K=4
⑨ 垂直上昇 1 回転ロール	K=3
着陸 採点しない	

■エキスパートクラス(上級)
 ①AA上級(中部独自ルール)
 演技図



演技説明

アドバンスド・スケジュール F3P AA-27 (2026-2027)

AA-27.01 リバース キューバン エイト フロム トップ ウィズ ハーフ・ロール、
ハーフ・ロール

背面飛行から、センターの手前で機首を引いて 1/8 宙返りし 45 度降下経路に入れ、1/2 ロールを演じ、機首を引いて 3/4 宙返りし 45 度降下経路に入れ、1/2 ロールを演じ、機首を引いて 5/8 宙返りし、背面飛行で終了

AA-27.02 コーナー コンビネーション ウィズ クォーター・ロール

背面飛行から、機首を引いて 1/4 宙返りし垂直降下経路に入れ、1/4 ロールを演じ、機首を引いて 1/4 宙返りし、翼の水平を維持したまま 1/4 サークルを演じ、水平飛行で終了

AA-27.03 ホリゾンタル スクエア ウィズ ハーフ・ロール、ハーフ・ロール

水平飛行から、センターを通過し、翼の水平を維持したまま 1/4 サークルを演じ、1/2 ロールを演じ、翼の水平を維持したまま 1/4 サークルを演じ、翼の水平を維持したまま 1/4 サークルを演じ、1/2 ロールを演じ、翼の水平を維持したまま 1/4 サークルを演じ、水平飛行で終了

AA-27.04 ハーフ サークル ウィズ ハーフ・ロール・インテグレートッド

水平飛行から、1/2 水平サークルを円周を構成する 1/2 ロールで演じ、背面飛行で終了

AA-27.05 トルク・ロール

背面飛行から、機首を押して 1/4 逆宙返りし垂直上昇経路に入れ、トルク・ローラー回を演じ、機首を引いて 1/4 宙返りし、背面飛行で終了

AA-27.06 ハーフ アワーグラス ウィズ ハーフ・ロール、ハーフ・ロール

背面飛行から、機首を引いて 1/8 宙返りし 45 度降下経路に入れ、1/2 ロールを演じ、機首を引いて 3/8 宙返りし垂直上昇経路に入れ、機首を引いて 3/8 宙返りし 45 度降下経路に入れ、1/2 ロールを演じ、機首を引いて 1/8 宙返りし、水平飛行で終了

AA-27.07 ループ ウィズ ハーフ・ロール・インテグレートッド イン ザ ファースト
180 デグリース

水平飛行から、機首を引いて 1/2 宙返りするが、円周を構成する 1/2 ロールで演じ、直ちに機首を押して 1/2 逆宙返りし、背面飛行で終了

AA-27.08 ダブル ハンプティ・ハンプ ウィズ クォーター・ロール、クォーター・ロール

背面飛行から、機首を押して 1/4 逆宙返りし垂直上昇経路に入れ、1/2 宙返り（正又は逆どちらでも良い）し垂直降下経路に入れ、1/4 ロールを演じ、機首を押して 1/4 逆宙返りし、機首を押して 1/4 逆宙返りし垂直上昇経路に入れ、1/4 ロールを演じ、1/2 宙返り（正又は逆どちらでも良い）し垂直降下経路に入れ、機首を引いて 1/4 宙返りし、水平飛行で終了

AA-27.09 ロール・コンビネーション・ウィズ ツー・コンセキューティブ・クォーター・
ロールズ、ツー・コンセキューティブ・クォーター・ロール オボジット

水平飛行から、1/4 ロール2回を連続して演じ、逆方向に 1/4 ロール2回を連続して演じ、水平飛行で終了

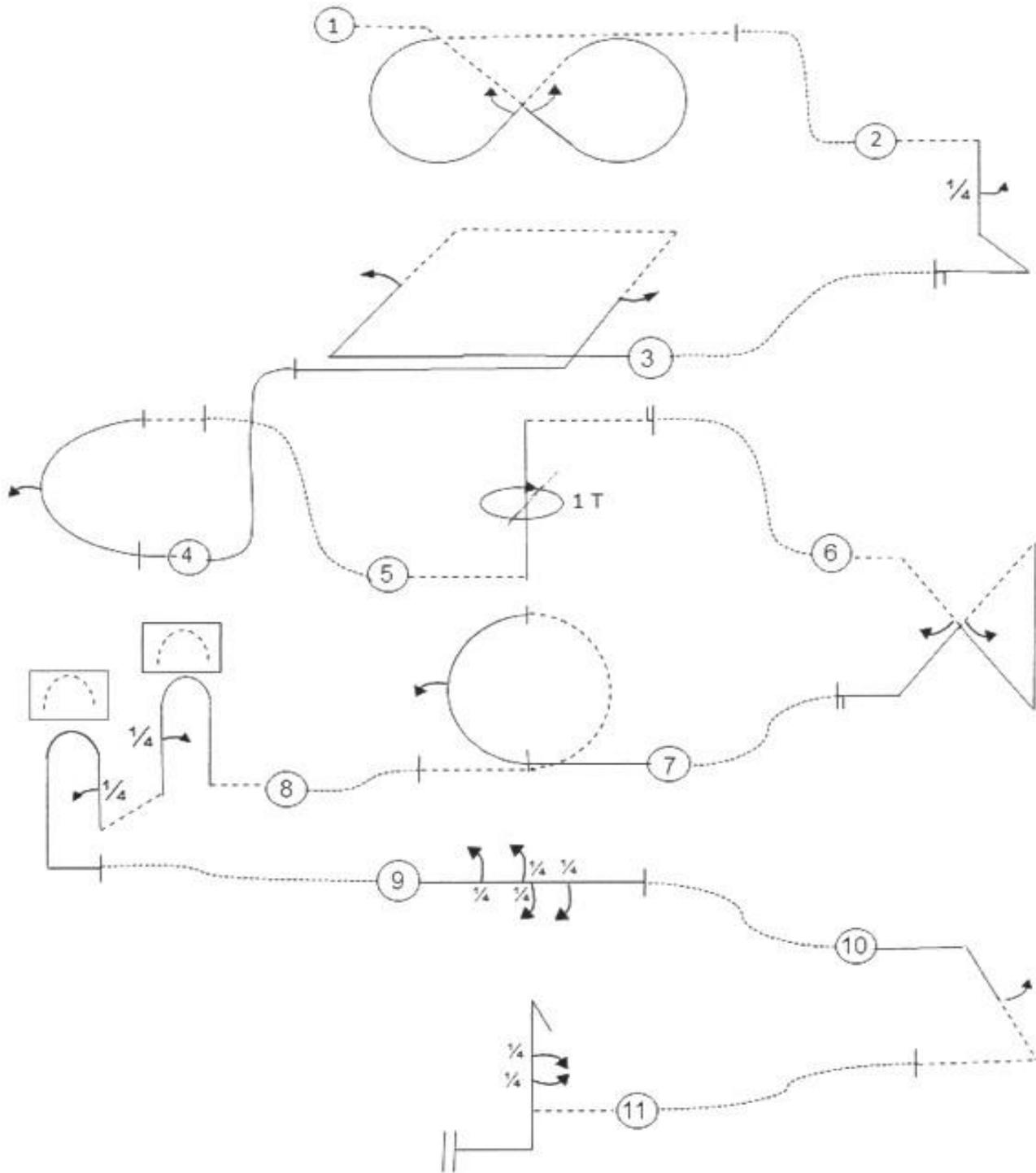
AA-27.10 ホリゾンタル ハーフ スクエア ウィズ ハーフ・ロール

水平飛行から、翼の水平を維持したまま 1/4 サークルを演じ、1/2 ロールを演じ、翼の水平を維持したまま 1/4 サークルをセンター方向に演じ、背面飛行で終了

AA-27.11 ストールターン ウィズ クォーター・ロール、クォーター・ロール

背面飛行から、機首を押して 1/4 逆宙返りし垂直上昇経路に入れ、1/4 ロールを演じ、ストールターンを演じて垂直降下経路に入れ、1/4 ロールを演じ、機首を引いて 1/4 宙返りし、水平飛行で終了

Advanced Schedule F3P AA-27 (2026 – 2027)



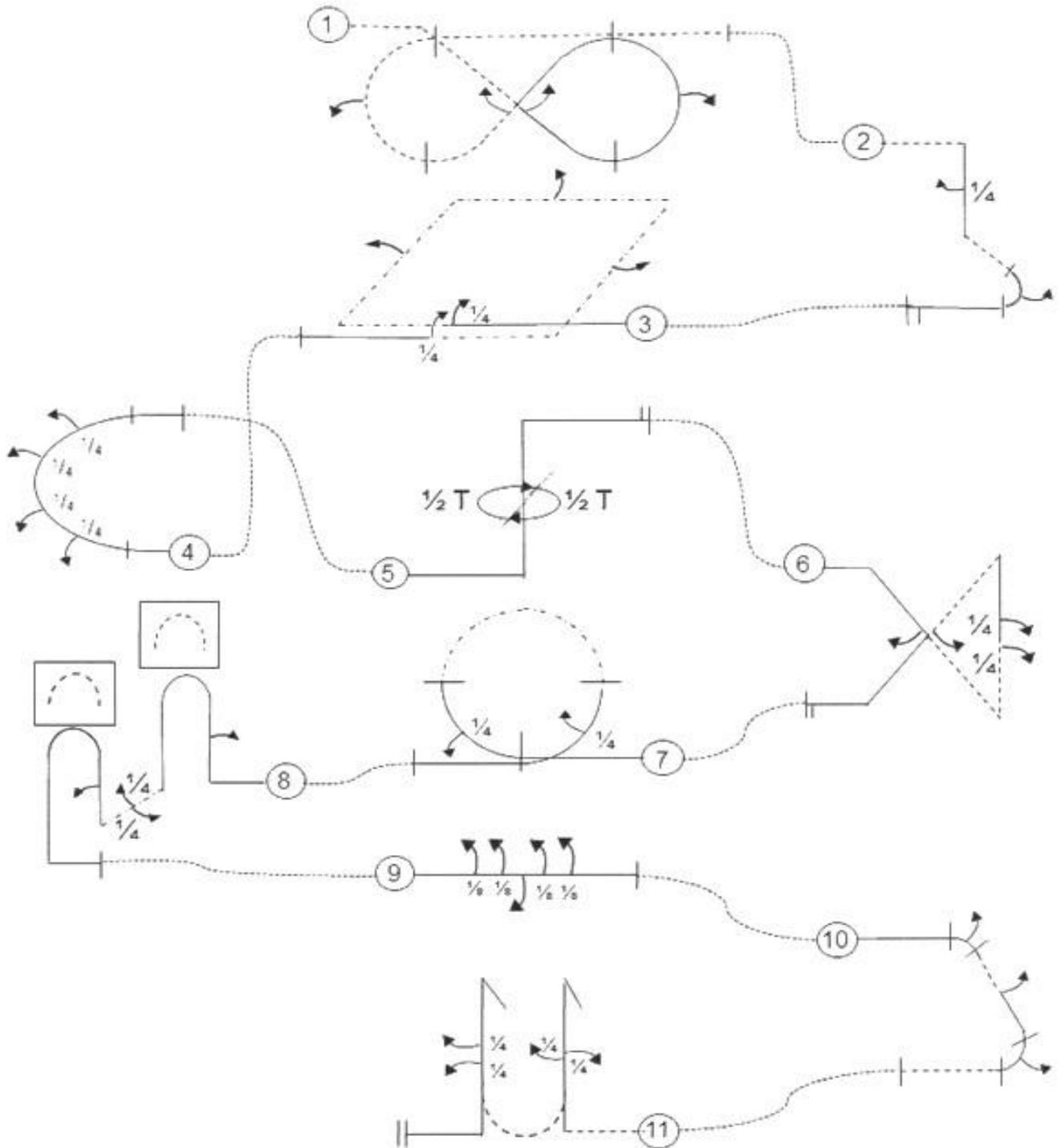
①F3P AP-27

演技説明

予選スケジュール F3P AP-27 (2026-2027)

- AP-27.01 リバース キューバン・エイト フロム トップ ウィズ ハーフ・ロール、
ハーフ・ロール インテグレートッド、ハーフ・ロール、ハーフ・ロール・インテグレートッド
背面飛行から、センターの手前で機首を引いて1/8宙返りし45度降下経路に入れ、1/2ロールを演じ、機首を引いて1/8宙返りし、直ちに機首を引いて1/2宙返りを演じるが円周を構成する1/2ロールで演じ、直ちに機首を押して1/8逆宙返りし45度降下経路に入れ、1/2ロールを演じ、機首を押して1/8逆宙返りし、直ちに機首を押して1/2逆宙返りを演じるが円周を構成する1/2ロールで演じ、背面飛行で終了
- AP-27.02 コーナー コンビネーション ウィズ クォーター・ロール、ハーフ・ロール
インテグレートッド
背面飛行から、機首を引いて1/4宙返りし垂直降下経路に入れ、1/4ロールを演じ、機首を押して1/4逆宙返りし、1/4サークルを円周を構成する1/2ロールで演じ、水平飛行で終了
- AP-27.03 ホリゾンタル スクエア ウィズ クォーター・ロール、ハーフ・ロール、
ハーフ・ロール、ハーフ・ロール、クォーター・ロール
水平飛行から、センターで1/4ロールを演じてナイフエッジ飛行に入れ、機首を押して1/4ナイフエッジサークルを演じ、1/2ロールを演じ、機首を引いて1/4ナイフエッジサークルを演じ、1/2ロールを演じ、機首を押して1/4ナイフエッジサークルを演じ、1/2ロールを演じ、機首を引いて1/4ナイフエッジサークルを演じ、1/4ロールを演じ、水平飛行で終了
- AP-27.04 ハーフ サークル ウィズ フォー コンセクティブ クォーター・ロール
水平飛行から、1/2サークルを円周を構成する1/4ロール4回で演じ、水平飛行で終了
- AP-27.05 ツー・コンセクティブ・ハーフ・トルク・ロールズ
水平飛行から、機首を引いて1/4宙返りし垂直上昇経路に入れ、1/2トルク・ロール2回を連続して演じ、機首を押して1/4逆宙返りし、水平飛行で終了
- AP-27.06 ハーフ アワーグラス ウィズ ハーフ・ロール、ツー・コンセクティブ・
クォーター・ロールズ、ハーフ・ロール
水平飛行から、機首を押して1/8逆宙返りし45度降下経路に入れ、1/2ロールを演じ、機首を押して3/8逆宙返りし垂直上昇経路に入れ、1/4ロール2回を連続して演じ、機首を引いて3/8宙返りし45度降下経路に入れ、1/2ロールを演じ、機首を引いて1/8宙返りし、水平飛行で終了
- AP-27.07 ループ ウィズ クォーター・ロール・インテグレートッド、クォーター・
ロール・インテグレートッド
水平飛行から、機首を引いて1/4宙返りするが円周を構成する1/4ロールで演じ、直ちにセンター方向に1/2ナイフエッジ宙返りを演じ、1/4宙返りするが円周を構成する1/4ロールで演じ、水平飛行で終了
- AP-27.08 ダブル ハンプティ・バンブ ウィズ ハーフ・ロール、ツー・コンセクティブ
・クォーター・ロールズ、ハーフ・ロール
水平飛行から、機首を引いて1/4宙返りし垂直上昇経路に入れ、1/2ロールを演じ、1/2宙返り（正逆どちらでも良い）し垂直降下経路に入れ、1/4ナイフエッジ宙返りを演じ、1/4ロール2回を逆方向に連続して演じ、1/4ナイフエッジ宙返りを演じて垂直上昇経路に入れ、1/2ロールを演じ、1/2宙返り（正逆どちらでも良い）し垂直降下経路に入れ、機首を引いて1/4宙返りし、水平飛行で終了
- AP-27.09 ロール・コンビネーション・ウィズ ツー・コンセクティブ・ワン・エイト・
ロールズ、ハーフ・ロール オボジット、ツー・コンセクティブ・ワン・エイト・ ロールズ オボ
ジット トゥー ザ ハーフ・ロール
水平飛行から、1/8ロール2回を連続して演じ、逆方向に1/2ロールを演じ、1/8ロール2回を1/2ロールと逆方向に連続して演じ、水平飛行で終了
- AP-27.10 ホリゾンタル ハーフ スクエア ウィズ インテグレートッド ハーフ・ロール、ハーフ・ロール、
インテグレートッド ハーフ・ロール
水平飛行から、1/4サークルを円周を構成する1/2ロールで演じ、1/2ロールを演じ、センター方向に1/4サークルを円周を構成する1/2ロールで演じ、背面飛行で終了
- AP-27.11 フィギュアM ウィズ クォーター・ロール、クォーター・ロール、クォーター・
ロール、クォーター・ロール
背面飛行から、機首を押して1/4逆宙返りし垂直上昇経路に入れ、1/4ロールを演じ、ストールターンを演じて垂直降下経路に入れ、1/4ロールを演じ、機首を押して1/2逆宙返りし垂直上昇経路に入れ、1/4ロールを演じ、ストールターンを演じて垂直降下経路に入れ、1/4ロールを演じ、機首を引いて1/4宙返りし、水平飛行で終了

Preliminary Schedule F3P AP-27 (2026 – 2027)



決勝スケジュール F3P AF-27 (2026-2027)

AF-27.01 ホリゾンタル スクエア オン・コーナー エイト ウィズ ハーフ・ロール、クォーター・ロール、クォーター・ロール、ハーフ・ロール、クォーター・ロール、クォーター・ロール、ハーフ・ロール
水平飛行から、センターで1/2ロールを演じ、機首を押して1/8逆宙返しし45度上昇経路に入れ、1/4ロールを演じて45度ナイフエッジ上昇経路に入れ、センター方向に向けて1/4ナイフエッジ宙返りを演じて45度ナイフエッジ上昇経路に入れ、1/4ロールを演じて45度背面上昇経路に入れ、機首を引いて1/4宙返しし45度降下経路に入れ、1/2ロールを演じ、機首を引いて1/4宙返しし45度上昇経路に入れ、1/4ロールを演じて45度ナイフエッジ上昇経路に入れ、センター方向に向けて1/4ナイフエッジ宙返りを演じて45度ナイフエッジ上昇経路に入れ、1/4ロールを演じて45度正面上昇経路に入れ、機首を押して1/4逆宙返しし45度降下経路に入れ、1/2ロールを演じ、機首を押して1/8逆宙返しし、背面飛行で終了

AF-27.02 ダブル ストール・ターン ウィズ ツー・コンセクティブ・クォーター・ロールズ、クォーター・ロール、ハーフ・ロール、クォーター・ロール
背面飛行から、機首を押して1/4逆宙返しし垂直上昇経路に入れ、1/4ロール2回を連続して演じ、ストールターンを演じて垂直降下経路に入れ、1/4ロールを演じ、機首を引いて1/4宙返ししクロス・ボックス経路に入れ、1/2ロールを演じ、機首を押して1/4逆宙返しし垂直上昇経路に入れ、1/4ロールを演じ、ストールターンを演じて垂直降下経路に入れ、機首を押して1/4逆宙返しし、背面飛行で終了

AF-27.03 ローリング・サークル ローリング・ループ コンビネーション ウィズ ハーフ・ロール・インテグレートッド、ロール・インテグレートッド、ハーフ・ロール・インテグレートッド
背面飛行から、センターで、1/4サークルを円周を構成する内回り1/2ロールで演じ、機首を引いて1/4宙返しし、1/2ナイフエッジ宙返りを円周を構成する1回ロールで演じ、機首を引いて1/4宙返しし、1/4サークルを円周を構成する外回り1/2ロールで演じ、背面飛行で終了
注記：演技中直線経路があってはならない（開始および終了経路を除く）、ローリング・サークルの半径はローリング・ループの半径より小さい

AF-27.04 コーナー コンビネーション ウィズ ハーフ・ロール・インテグレートッド、クォーター・ロール、ハーフ・ロール・インテグレートッド
背面飛行から、1/4サークルを演じてクロス・ボックス経路に入れるが、円周を構成する1/2ロールで演じ、機首を引いて1/4宙返しし垂直上昇経路に入れ、1/4ロールを演じ、機首を引いて1/4宙返しするが、円周を構成する1/2ロールで演じ、水平飛行で終了

AF-27.05 プッシュド ループ ウィズ クォーター・ロール・インテグレートッド、クォーター・ロール・インテグレートッド
水平飛行から、機首を押して1/4逆宙返しするが円周を構成する1/4ロールで演じ、続けて1/2ナイフエッジ宙返しし、1/4宙返りを円周を構成する1/4ロールで演じ、水平飛行で終了

AF-27.06 ハーフ・スクエア・ループ ウィズ トライアングル、ハーフ・ロール、クォーター・ロール、クォーター・ロール
水平飛行から、機首を押して1/4逆宙返しし垂直降下経路に入れ、1/2ロールを演じ、機首を引いて3/8宙返しし45度上昇経路に入れ、1/4ロールを演じ、1/4ナイフエッジ宙返りを演じて45度上昇経路に入れ、1/4ロールを演じて45度正面上昇経路に入れ、機首を押して3/8逆宙返しし垂直降下経路に入れ、機首を押して1/4逆宙返しし、背面飛行で終了

AF-27.07 フォーティ・ファイブ デグリー ナイフ・エッジ クロスボックス ライン ウィズ クォーター・ロール・インテグレートッド、ツー・コンセキューティブ・ワン・エイト・ロールズ、ツー・コンセキューティブ・ワン・エイト・ロールズ イン・オボジット・ディレクション、クォーター・ロール・インテグレートッド

背面飛行から、1/8 サークルを円周を構成する 1/4 ロールで演じて 45 度クロスボックスナイフエッジ経路に入れ、1/8 ロール2回を連続して演じ、続けて逆方向に 1/8 ロール2回を連続して演じ、1/8 サークルを円周を構成する 1/4 ロールで演じ、背面飛行で終了

AF-27.08 ツー ハーフ・ループス ウィズ クロスボックス ライン ウィズ ハーフ・ロール・インテグレートッド、クォーター・ロール・インテグレートッド、クォーター・ロール・インテグレートッド、ハーフ・ロール・インテグレートッド

背面飛行から、機首を押して 1/4 逆宙返りするが円周を構成する 1/2 ロールで演じ、1/4 サークルを円周を構成する 1/4 ロールで演じてナイフエッジクロスボックス経路に入れ、1/4 サークルをセンターから離れる方向に円周を構成する 1/4 ロールで演じ、機首を引いて 1/4 宙返りするが円周を構成する 1/2 ロールで演じ、背面飛行で終了

AF-27.09 スクエア・ループ・ウィズ クォーター・ロール、スリー・クォーター・トルク・ロール、クォーター・ロール、クォーター・ロール

背面飛行から、センターで 1/4 ロールを演じてナイフエッジ飛行に入れ、1/4 ナイフエッジ宙返りを演じて垂直上昇経路に入れ、3/4 トルク・ロールを演じ、機首を引いて 1/4 宙返りし、1/4 ロールを演じ、1/4 ナイフエッジ宙返りを演じて垂直降下経路に入れ、1/4 ロールを演じ、機首を引いて 1/4 宙返りし、水平飛行で終了

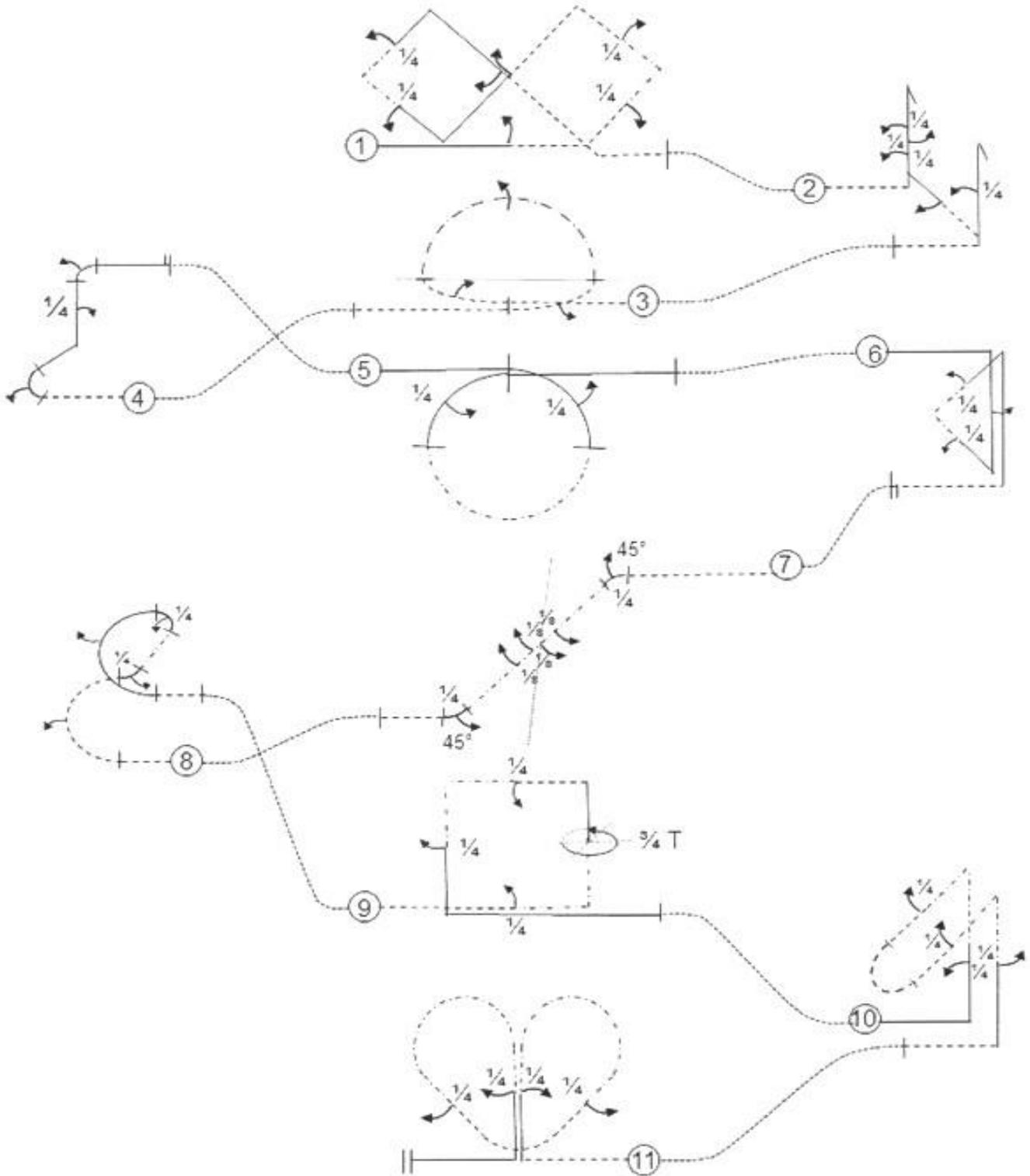
AF-27.10 ダブル シャーク・フィン ウィズ クォーター・ロール、クォーター・ロール、クォーター・ロール、クォーター・ロール、クォーター・ロール

水平飛行から、機首を引いて 1/4 宙返りし垂直上昇経路に入れ、1/4 ロールを演じ、センター方向に 3/8 ナイフエッジ宙返りを演じて 45 度降下経路に入れ、1/4 ロールを演じ、背面状態の 1/2 サークルを 45 度傾斜面上で演じて 45 度上昇経路に入れ、1/4 ロールを演じ、センターから離れる方向に 3/8 ナイフエッジ宙返りを演じて垂直降下経路に入れ、1/4 ロールを演じ、機首を押して 1/4 逆宙返りし、背面飛行で終了

AF-27.11 ダブル キー ウィズ クォーター・ロール、クォーター・ロール、クォーター・ロール、クォーター・ロール

背面飛行から、機首を押して 1/4 逆宙返りし垂直上昇経路に入れ、1/4 ロールを演じ、センターから離れる方向に 5/8 ナイフエッジ宙返りを演じて 45 度降下経路に入れ、1/4 ロールを演じ、機首を押して 1/4 逆宙返りし 45 度上昇経路に入れ、1/4 ロールを演じ、センター方向に 5/8 ナイフエッジ宙返りを演じて垂直降下経路に入れ、1/4 ロールを演じ、機首を引いて 1/4 宙返りし、水平飛行で終了

Final Schedule F3P AF-27 (2026 – 2027)



AFM1.テイクオフ・シーケンス

床に模型を置き、離陸する。

AFM2.フリースタイル

演技は、競技者が自由選択した演技を競技者自身が選択した音楽にあわせ飛行する。ショー的効果を見せることに付け加え、ルールに含致し、安全が確保されていれば、あらゆる演技の飛行ができる。各ラウンドにおいては異なる音楽、異なる演技パターンで飛行することができる。

注：世界選手権または大陸選手権ではアレンジが異なった2つの音楽を使用した飛行プログラム、スケジュール1とスケジュール2を用意することが必須となる。スケジュール1は決勝1ラウンドと3ラウンドで飛行し、スケジュール2は決勝2ラウンドと4ラウンドで飛行する。）

演技の評価は、開始から終了まで全体にわたり以下に示す評価基準で審査する。

演技の評価は以下の5つの評価基準により演技終了後評価する。この5つの評価基準は飛行全体に対して適用され、飛行の一部だけに適用されるものではない。

演技の正確度と精度…………… K-20

フリースタイル演技に対しての評価基準は、模型機がどのような姿勢であっても競技者により安全に制御されており、またその演技が競技者の思った通りの飛行であり、かつ正確にまた精度よく飛行されていることを審査員に示さなければならない。高得点を与えることができるのは、個々の演技の開始、終了での飛行方向に、また飛行姿勢に矛盾が無いこと。

演技の複雑性…………… K-20

演技の複雑性の評価基準は、演技の複雑性(難度)及び演技の多様性について審査する。大事なことは、フライトの盛り上がり部分だけを審査するのではなく、全般的な難度及び多様性を含むフライト全体を審査することである。それに加え、その機体の最大の飛行性能を引き出す、例えば低速、高速飛行、スナップ演技、ホバリング演技等の飛行、またポジティブG、ネガティブGでの自返り、ロール、スナップロール、スピン、ストールターン、テール・スライド、ホバリング、トルクロール、水平サークル、ロムチャバック、サークル等の演技について審査する。同一演技が繰り返される場合は減点する。演技位置はセーフティラインに平行又は直角に演技すべきである。事前に計画されていない、また意図しない演技になってしまった演技は減点する。同じように魅力に欠ける演技は減点する。リスクを伴う演技は、難度が高い演技から除くべきで有り、難度についての高得点を与えるべきでないし、安全面から減点する。

音楽との調和…………… K-30

このAFMでの音楽との調和の難しさは、競技者の選んだ音楽アレンジにどれだけ融合、またリズムに合わせた飛行することである。その飛行は音楽に同調した飛行であり、バックグラウンド音楽の前で3D飛行を描くだけの飛行ではいけない。

演技は音楽に合わせて始まり、また終了しなければならない。AFMの飛行では、音楽のリズム、変化等にあわせて飛行することが重要となる。

選択された音楽の部分、部分には繋がり有り、早い、遅い、小音量、大音量、また活動的(盛り上がり)部分が含まれること。この活動的演技と変化にとんだ演技構成は高得点取得につながる。この飛行にはいろいろなテンポの飛行が含まれなければならない。この飛行には選択された音楽のムード(内容)が反映されなければならない。これらがあまり反映されていない飛行結果は減点される。

このカテゴリーでは、その飛行について音楽の変化、リズムとの調和、音楽との協調が無い、音楽がバック・グラウンド・ミュージックになっている飛行は減点されなければならない。

飛行空域の利用…………… K-10

飛行は演技空域を全体を使用すべきである。飛行は審査員また観客に向けて披露するが、リスクを伴う審査員、観客に向けた飛行は減点となる。

特別演出効果…………… K-10

特別演出効果を取り入れた場合加点される。(審査注釈参照)

特別効果は演出効果があるものを使用し、フリースタイル飛行をより見ごたえある飛行に演出する。それは:

可変ピッチ・プロペラ

これを使用することにより、特別な演技、特別なスタイルの飛行。

リボン等

リボンはたたんで飛行中展開、切り離す事も可能である。切離した後その上、下を飛行する。

紙吹雪等

飛行中紙吹雪を投下し、演出効果を高める。

ライトを機体に仕込み、飛行中音楽に合わせて点滅させる等。

その他

パイロットの発想で新しい特別効果装置の使用、工夫。

注:花火、発煙筒のような可燃物を使用した特別効果の使用は厳禁とする。

審査注釈:

エアロ・ミュージカル (F3P=AFM)は、主に観客及びメディアに焦点を合わせている。そのためその飛行はショー的要素を取り入れた、魅力ある、卓越した飛行技行を酷使した飛行であること。

フリースタイルの審査は主観的であり、F3Pエアロバティックに適用されている減点方法は使用出来ない。フリースタイル審査方法は、特別演出効果を除く、演技の正確度と精度、演技の複雑性、音楽との調和、飛行空域の利用に対し、5点を基準にその出来栄えに応じて加点、減点し審査する。

特別演出効果に対しては、飛行中に実施される1つの特別演出効果に対し、2点までを与えることができる。もし特別演出効果が飛行全体に対し実施された場合、0.5点以上与えてはならない。もし特別演出効果が失敗した場合はこの特別演出効果は0点となる。もし5個の特別演出効果が実施されたら、最高得点の10点となる。

特定な選手、機体、音楽等に好意的、また非好意的な偏見を持って審査してはならない。ジャッジは演技が行われている間、即座に鉛筆によるメモを取ることを進める。メモ内容は飛行中何時でも変更可能である。採点は全ての審査基準に従い同時、公平に行なう。

審査員はAFMの練習飛行を見て審査し、飛行の違い、レベルの違いを見極め、知ることを推奨する。

AFM3.ランディング・シーケンス

飛行の終了は、安全であればどのような方法でもかまわない。